

事 務 連 絡  
平成 25 年 4 月 10 日

横浜市健康福祉局健康安全部医療安全課 御中

神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課

第十六改正日本薬局方第一追補正誤表の送付について

平成 25 年 3 月 29 日付けで厚生労働省医薬食品局審査管理課から別添のとおり事務連絡がありましたので、お知らせします。

なお、関係団体には別途連絡済みです。

また、別添の事務連絡は神奈川県ホームページの薬務課コンテンツ「かながわの薬事情報」に掲載しております。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4551/>

(事務連絡の概要)

第十六改正日本薬局方第一追補(平成 24 年厚生労働省告示第 519 号)について一部誤植等があり、正誤表が送付された。

問い合わせ先  
生産指導グループ 青木  
電話 (045)210-1111 内線 4977



<連絡先関係団体>

神奈川県製薬協会

神奈川県化粧品工業協会

神奈川県医療機器工業会

神奈川県医薬品卸業協会

公益社団法人神奈川県薬剤師会

社団法人神奈川県医薬品配置協会

社団法人神奈川県医薬品登録販売者協会

神奈川県医薬品配置協同組合

事務連絡  
平成25年3月29日

各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課 御中

厚生労働省医薬食品局審査管理課

第十六改正日本薬局方第一追補正誤表の送付について

第十六改正日本薬局方第一追補（平成24年厚生労働省告示第519号）につきまして、一部に誤植等がありましたので別紙のとおり正誤表を送付いたします。



## 第十六改正日本薬局方第一追補正誤表

## 1. まえがき・目次

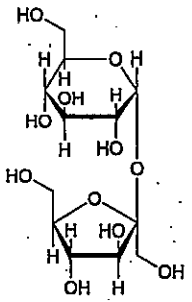
該当箇所	頁	行	正	誤
目次	(3)	↓ 1	第十六改正日本薬局方第一追補	第十六改正第一追補日本薬局方
目次	(4) 左	↓ 8	セフジニル	セフニジル
目次	(6)	↓ 1	第十六改正日本薬局方第一追補	第十六改正第一追補日本薬局方

## 2. 一般試験法

該当箇所	頁	行	正	誤
9.41 試薬・試液	20 左	↓ 26	$C_{12}H_{16}O_7$	$C_{12}H_{16}O_7O$
9.41 試薬・試液	20 左	↑ 5	標準溶液(1) 10 $\mu$ L ずつ	標準溶液 10 $\mu$ L ずつ
9.41 試薬・試液	21 右	↓ 28	$C_2Na_2O_4$	$C_2O_4 Na_2$
9.41 試薬・試液	28 左	↑ 4	果糖, 薄層クロマトグラフィー用 . . . . . カルボプラチン $C_6H_{12}N_2O_4Pt$ [医薬品各条] 還元緩衝液, ナルトグラステム試料用 . . . . .	果糖, 薄層クロマトグラフィー用 . . . . . 還元緩衝液, ナルトグラステム試料用 . . . . .
9.41 試薬・試液	33 右	↑ 9	エポエチンアルファ標準品	エポエチンアルファ標準物質
9.42 クロマトグラフィー用担体/充填剤	34 右	↑ 2	多孔性スチレン-ジビニルベンゼン共重合体(平均孔径 0.3~0.4 $\mu$ m, 50m <sup>2</sup> /g 以下), ガスクロマトグラフィー用 を見よ.	多孔性スチレン-ジビニルベンゼン共重合体(平均孔径 0.3~0.4 $\mu$ m, 50m <sup>2</sup> /g 以下) を見よ.

3. 医薬品各条

該当箇所	頁	行	正	誤
イオヘキソール	44 右	↑ 2	還流冷却器を付けて 30 分間煮沸し,	還流冷却器を付けて水浴上で 30 分間加熱し,
70%一硝酸イソソルビド乳糖末	46 右	↑ 24	本品を乾燥し, 一硝酸イソソルビド( $C_6H_9NO_6$ ) 約 0.2 g に対応する量を精密に量り,	本品を乾燥し, 一硝酸イソソルビド( $C_6H_9NO_6$ ) 0.2 g に対応する量を精密に量り,
L-シスチン	78 右	↑ 4	薄層クロマトグラフィー <u>(2.03)</u> により	薄層クロマトグラフィーに <u>(2.03)</u> より
無水乳糖	109 右	↓ 8	<p>(1) 溶状 本品 1.0 g を熱湯 10 mL に溶かし, 放冷し, 観察するとき, 液は無色又はほとんど無色澄明で, その色は次の比較液より濃くない。また, この液につき, 水を対照とし, 紫外可視吸光度測定法 (2.24) により試験を行うとき, 波長 400 nm における吸光度は 0.04 以下である。</p> <p>比較液: 塩化コバルト(II)の色と比較原液 2.5 mL, 塩化鉄(III)の色と比較原液 6.0 mL 及び硫酸銅(II)の色と比較原液 1.0 mL をとり, 薄めた希塩酸(1→10)を加えて 1000 mL とする。</p>	<p>(1) 溶状 本品 1.0 g を熱湯 10 mL に溶かし, 放冷し, 観察するとき, 液は無色又はほとんど無色澄明で, その色は次の比較液より濃くない。</p> <p>比較液: 塩化コバルト(II)の色と比較原液 2.5 mL, 塩化鉄(III)の色と比較原液 6.0 mL 及び硫酸銅(II)の色と比較原液 1.0 mL をとり, 薄めた希塩酸(1→10)を加えて 1000 mL とする。また, この液につき, 水を対照とし, 紫外可視吸光度測定法 (2.24) により試験を行うとき, 波長 400 nm における吸光度は 0.04 以下である。</p>

精製白糖	110 左	↑ 16	<p>Sucrose</p>  <p><math>C_{12}H_{22}O_{11}</math> : 342.30 β-D-Fructofuranosyl α-D-glucopyranoside [57-50-1]</p> <p>本医薬品各条は，三薬局方での調和合意・・・</p>	<p>Sucrose</p> <p>本医薬品各条は，三薬局方での調和合意・・・</p>
ピロカルピン塩酸塩錠	123 右	↓ 20	リン酸二水素カリウム試液1000 mLにリン酸を加えて	リン酸二水素カリウム試液に1000 mLリン酸を加えて
フィルグラスチム（遺伝子組換え）	125 右	↓ 22	本品の1 mL中に	本品の1 mLの中に
プロチゾラム	131 左	↓ 19	混合比を次のように	混合比を次のように
モルヒネ硫酸塩水和物	137 左	↑ 5, 7	標準溶液(1)から得たスポット 標準溶液(2)から得たスポット	標準溶液(1)のスポット 標準溶液(2)のスポット
ラフチジン錠	139 左	↑ 15	液体クロマトグラフィー	液体クロマトグラフ <del>フ</del> ィー
ラフチジン錠	139 左	↑ 4	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル	液体クロマトグラ <del>フ</del> ィー用オクタデシルシリル化シリカゲル

4. 医薬品各条 (生薬等)

該当箇所	頁	行	正	誤
シヨウキョウ末	163 左	↓ 10	乾燥減量 (5.01) を測定しておく	乾燥減量 (2.41) を測定しておく
バクガ	171 右	↓ 22	GERMINATUS	GARMINATUS

5. 参考情報

該当箇所	頁	行	正	誤
核磁気共鳴(NMR)法を利用した定量技術と日本薬局方試薬への応用	213 右	↓ 7	$P_n = \frac{S_n N_n M_n m_n}{S_n N_n M_n m_n} P_n$	$P_n = \frac{S_n N_n M_n m_n}{S_n N_n M_n m_n} P_n$
第十六改正日本薬局方における国際調和	221 左	↓ 20	調和年月：2012年6月(Corr. 2)	調和年月：2008年11月(Corr. 1)
第十六改正日本薬局方における国際調和	223	↑ 29	調和年月：2010年6月 (Rev. 3)	調和年月：2008年11月 (Rev. 2)
第十六改正日本薬局方における国際調和	225 左	↓ 29	調和年月：2012年6月(Rev. 1, Corr. 1)	調和年月：2010年11月(Rev.1)

6. 日本名索引

該当箇所	頁	行	正	誤
カ	245 右	↑ 4	カルボプラチン・・・・・・・・28, 64	カルボプラチン・・・・・・・・64